

町政を問う!



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」



香美町ホームページ(総合計画QR)

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハードルが下がってきている。



まつおか だいご 松岡 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき
今後一生懸命になって普及に努めていきます



単なる「お買い物手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加コミュニケーションという側面もあると言われ、全国の自治体でも導入されている。今後香美町でも導入を考えているか。

町長 デジタル地域通貨の住民ニーズは明確に把握していませんが、物

価高騰応援券など、地域限定で利用できる商品券をデジタル化することで、支給するまでのスピード化や事業所のみなさんの換金作業簡略化が図れるなど、事務の軽減化、更には紙に比べ発送や印刷費など管理費用削減にもつながるなど様々な活用が考えられます。次の段階とし

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になって考えていきたいです。すし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

第3次総合計画について、町長自身の目指すものが網羅されている形で示された。



むらた ゆきののぶ 村田 行信 議員

第2次総合計画で示さ

れた目標は達成されていないというふうに実際に数字で示されてしまっているわけですから、何かを変えないといけない。

各課、各分野で基本方針が6つある中、主要施策もそれに伴って町のありとあらゆる分野がある。私はこれから先、来年の予算から何かしらチャレンジが

起こるものと信じているが、これは信じて大丈夫なものなのかを改めて問う。

町長 向こう10年間の総合計画を、実行、イメージしているとおりに進捗するような努力は惜しまないつもりでいます。ただ、それが明確に計画に沿ってできるのかと言いますと、これはまだ不確定

第3次総合計画に沿って動き出す町政の行方は
イメージどおりに進捗させる努力は惜しまない



でありますけれども、役員と一丸となって全力で取り組んでいくことはお約束をさせていただきたいと思っています。